

事務事業名	道路橋りょう維持管理事業					事務事業No.	673 - 2	
1. 基本情報								
担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名		
都市建設部	土木管理課	道路維持係	係長	森 善臣	課長	靱迫 博史		
施策体系	総合計画	政 策	6	都市基盤・生活基盤				
		施 策	7	道路の整備				
		基本事業	3	安全・安心な市道・橋りょう整備の推進				
	その他の計画	個別計画	-					
根拠法令・条例・要綱等	道路法							
事業開始年度	平成18年度	事業終了年度	継続		事務事業類型	施設維持管理事業		
実施手法	一部委託	補助金等の支給	なし		実施計画期間	-		
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）								
概要	市が管理する道路・橋りょうの安全性を確保するため、通常管理業務として舗装修繕、道路構造物修繕、路面清掃、支障木等の伐採、街路樹の剪定、害虫防除等を実施している。また、道路パトロールを実施し、道路のポットホール等不良個所の点検や復旧も行っている。これら道路・橋りょうの維持管理については、緊急性の高い箇所から随時修繕工事を実施し、安全な道路環境を維持している。							
対象	働きかける相手・もの	市が管理する道路及び橋りょう						
手段	方法・働きかけ（活動指標）	通報、要望、苦情箇所等の現地調査を行い、修繕や改修工事を実施する						
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	市が管理する道路及び橋りょうを安全に利用できるよう施設を適切に維持管理する						
3. 活動指標（決算成果説明書と運動）								
指標名		単位	指標の説明（算式等）		前年度実績	本年度実績	次年度見込	
市道・橋りょうの修繕・改修実施件数		件数	道路施設の修繕・改修を実施した件数		410	430	420	
道路パトロールの実施回数		回	職員等による道路パトロールの実施回数		570	580	580	
橋りょう長寿命化修繕事業の橋数		橋	橋りょう長寿命化修繕計画策定による工事実施件数		2	5	3	
4. 成果指標（決算成果説明書と運動）								
指標	道路パトロールによる損傷箇所への応急処置対応件数	単位 件	達成目標値 10,000	目標値	前年度実績 10,000	本年度実績 10,000	次年度見込 10,000	
説明	道路パトロールで発見し応急処置対応を実施した件数	方向性 減少	達成目標年度 毎年度	実 績	12,000	12,000		
指標	道路関係等事故発生及び処理件数	単位 件	達成目標値 0	目標値	前年度実績 0	本年度実績 0	次年度見込 0	
説明	市が管理する道路で通行中に生じた事故の処理実施件数	方向性 維持	達成目標年度 毎年度	実 績	3	5		
指標	橋りょう長寿命化修繕計画の計画実施率	単位 %	達成目標値 100	目標値	前年度実績 100	本年度実績 100	次年度見込 100	
説明	計画/実施数	方向性 維持	達成目標年度 毎年度	実 績	100	100		
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）								
経費区分	一般会計	政策的経費・義務的経費・経常経費				特別会計	-	
予算科目・事業	会計 1	一般会計		款 8	土木費	項 2	道路橋りょう費	目 1 道路橋りょう維持費
	大 99	その他の道路橋りょう維持費		中 1	道路橋りょう維持管理費 他 5 事業			
投入人員 (当該事務事業に 対して1年間に投 入した人員)	(R2以降)		前年度実績 (千円)		本年度実績 (千円)		増減理由 (10%以上の場合)	
	正職員		0.46	人	83,116	11.31	人	92,109
	任期付職員(保育士)		0.00	人	0	0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)		0.00	人	0	0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)		0.00	人	0	0.00	人	0
	再任用フル		0.00	人	0	0.00	人	0
	再任用短		1.45	人	5,067	1.95	人	6,981
	会計年度 1級フル		5.50	人	16,115	5.50	人	20,240
事業費	1級パート		7.50	人	15,750	7.50	人	19,725
	2級パート		0.05	人	138	0.05	人	172
	人件費計 (A)		120,186		139,227		道路メンテナンス事業計画に基づく、橋りょう工事数の増加(R5:2橋 R6:5橋)及び工事設計委託料(R6:2件)の皆増によるもの。	
	直接事業費 (B)		681,726		725,045			
	総事業費 (A+B)		801,912		864,272			
	直接事業費のうち の主な歳出内訳		各所草刈等委託料		92,569		95,893	
			各所維持修繕工事		74,740		84,134	
			使用料・手数料(受益者負担分)		0		0	
財源内訳	国・県支出金		61,387		86,273		54,340	
	市債		158,800		175,400		40,000	
	一般財源		581,725		602,599		591,334	
	その他 ()		0					

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	高い	不特定多数の者が利用するインフラである道路と橋りょうの安全で良好な状態を適切に維持管理していく本事業については、道路管理者である市の関与が必要であり、市が直接事業を実施することが妥当である。
効率性 評価	高い	管理対象となる箇所が多く、年々補修が必要な箇所が増加傾向にある中、限られた予算内で効率的に補修等を実施できていることから業務の効率性は高いものとする。
有効性 評価	高い	道路及び橋りょうの安全性を確保するための事業であることから必然性が高く、今後も継続していく必要がある。

7. 前年度評価時の計画と実績				
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★		
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに	職員による道路パトロール及び点検、簡易的な修復を実施する。	
	拡充	実施できる改善策		
	二次評価	コストの方向性	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期	的に実施する改善策
		拡充		
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入				
通常勤務時間内に常時道路パトロールを実施できた。広報にポットホールの通報依頼を掲載を行うことで市民等の通報を得られ、迅速なポットホール補修を実施できた。また、堤防道路に張コンクリート施工を実施し、次年度以降の草刈面積の削減に努めた。				

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
「成果」	・橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、4橋の修繕工事及び1橋の横断歩道橋の撤去工事を実施した。また、舗装の個別施設計画に基づき、9路線の修繕工事を実施した。 ・道路パトロールにより危険箇所を発見した場合や草刈等における住民からの通報や苦情などに対して迅速に対応し通行等の安全確保に努めた。
「課題」	限りある予算内で最適な施設の維持管理が行われるように、修繕や改修を行う事業箇所を十分に精査し実施しなくてはならない。

9.今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	「理由」道路管理者として道路と橋りょうの安全性を維持するための事業であるうえ、道路の老朽化に伴い地域要望も年々増加の傾向を辿り、今後も補修箇所が増加傾向にあることから、整備箇所を拡充する必要がある。
拡充	
コスト投入の方向性	「理由」道路及び橋りょうの老朽化に伴い年々補修が必要な箇所が増加傾向にあることから、安全性を確保するため予算の拡充が必要である。
拡充	
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	職員による道路パトロール及び点検及び軽微な損傷個所の修復を実施する。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	草刈には、業者と直営で対応しているが、地元で草刈を行っていた箇所が住民の高齢化により実施できなくなり市対応箇所が年々増加し、通行の安全確保が困難なりつつある。改善策として草刈箇所を張コンクリートし雑草の繁茂を防ぐことで通行の安全を確保できるが、コスト（人・予算等）が必要となってくる。また張コンクリートは、対象箇所も多いことから長期的な計画作りが必要である。

評価変更理由	成果の方向性	全庁的な管理範囲の決定や、庁内における類似作業等の統合や、一括発注を行うこと。 全庁的な統合や見直しを図ることでコスト削減に努めること。
	統合	
	コスト投入の方向性	
	縮小	